

# 行動変容と実践志向を促すDX推進人材育成研修サービス

DX推進の流れを体感できる実践型・ハンズオン型の研修を通じて企業のDX人材育成を支援

近年のデジタル技術の発展に伴い、すべての企業においてDX推進をリードできる人材の育成が急務となっています。一方で、“DX人材育成”と銘打った研修は「DX構想に必要なリテラシー・知識の教育」「施策の実行・運用に必要なIoTやAIの活用方法」といった表層的な内容が多く、「DXを推進できる人材の育成」というニーズとの間にギャップが存在します。

アビームコンサルティングは、デジタルテクノロジーの知見や企業のDX推進に関する豊富な実績を用いて実践型・ハンズオン型の「DX推進人材育成研修」を提供します。受講者がDX構想の創出ができる状態を目指し、構想の具体化や新事業立ち上げまで一貫してサポートすることで、企業のDX推進に関する課題を解決に導きます。

## DX人材育成が進まない真因とアビームコンサルティングの提供価値

近年、AIやブロックチェーン等、新たなデジタル技術が、実際のビジネスに活用され始めています。それに伴い、デジタルの潮流を捕捉し自社ビジネスへ実装できる「DX推進人材」の存在有無が、企業の競争力に大きな差を生みます。しかしながら、次世代を担う若手リーダー層が、DX推進の重要な要素である「必要な知識を得る」「有効な方針・施策を考える」「考えた結果を実践する」を様々な阻害要因で達成できていないことから「DX人材の育成」が十分に進展していないケースが散見されます。

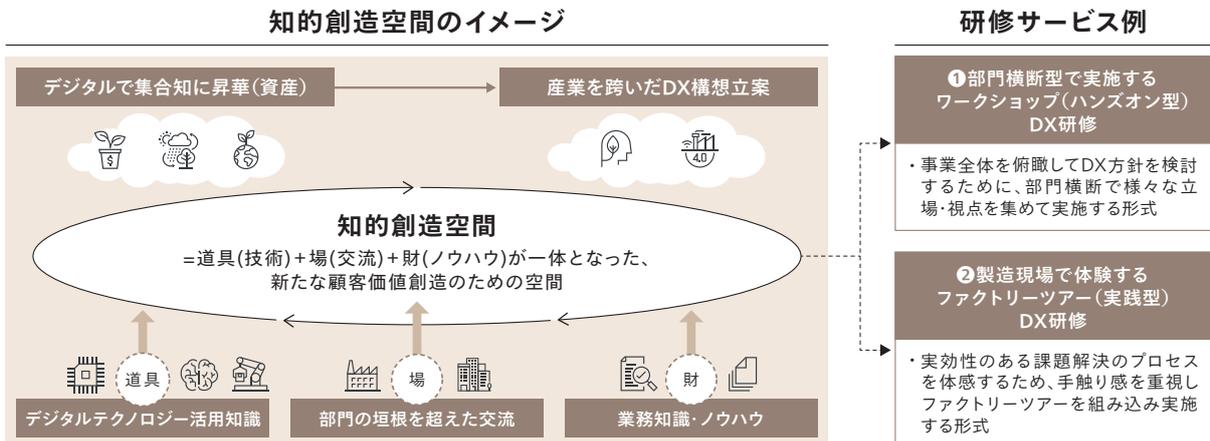
アビームコンサルティングは、独自のアプローチを活用して、若手リーダー層に「必要知識のインプット」「リアルな課題発見・アイデア創出」「自分ごと化と行動変革」までを行う実践型・ハンズオン形式の研修を提供し、DX推進の流れを体感・体得していただくことで、企業のデジタル変革と、継続的なDX推進に必要な「知的創造空間」の形成をサポートします。

DX推進の要素	必要な知識を得る	有効な方針・施策を考える	考えた結果を実践する
DX推進の阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社・自産業に閉じて考えてしまう</li> <li>・ 他産業やベンチャー企業とのコネクションがなく、意見交換ができない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DX推進部署のみで検討を進め、現場のメンバーが参画しておらず、実効性の検討ができない</li> <li>・ 実際の現場の課題を肌で感じられる機会がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討した施策を具体化するためのアクションプランが決まらない</li> <li>・ 通常業務に圧迫されて体制が組めず、モチベーションも上がらない</li> </ul>
アビームの提供価値と具体例	<b>必要知識のインプット</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最新のテクノロジートレンドと、それらを活用した事例の提供</li> <li>・ 産業ごとの変化のシナリオと課題の示唆</li> <li>・ サステナビリティに関連する複雑な社会課題への対応策</li> </ul>	<b>リアルな課題発見・アイデア創出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門横断での意見交流、討議</li> <li>・ 解決すべき課題とデータ活用を主軸にしたアイデア創出を支援</li> <li>・ 実際の工場などの現場を巡りリアルな課題発見の機会を提供</li> </ul>	<b>自分ごと化と行動変革</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイデアを深掘り・具体化し自分ごと化するまでのアプローチを支援</li> <li>・ 経営層に対するプレゼンや行動変革の宣言、自部署・コミュニティに学びをシェアするなど、モチベーションの向上につながる施策を指南</li> </ul>

## DX推進人材育成研修の概要とDX推進に必要な「知的創造空間」

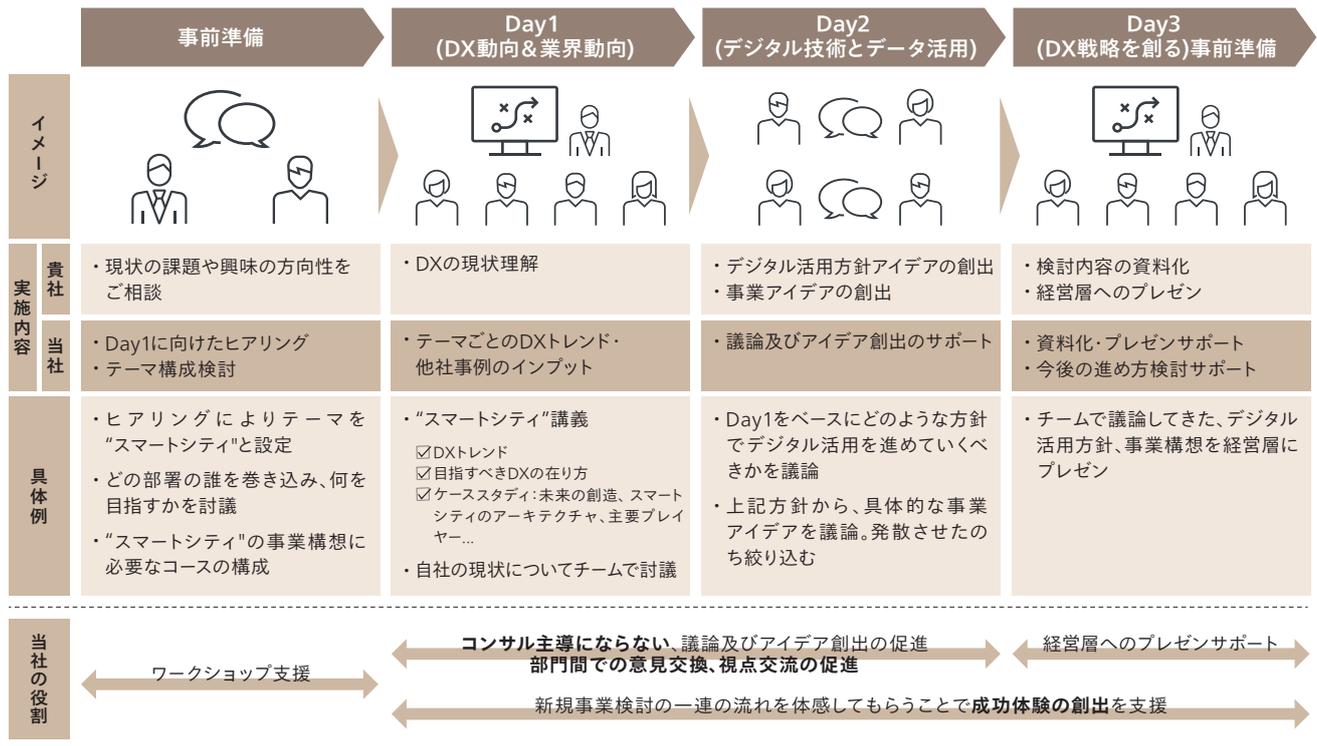
DXの構想から具体施策まで落とし込むためには、表層的な座学のDX研修のみならず、現場の従業員が日々実業務で感じた“生”の課題を部門横断で共有した上で、どのようにその課題に対応するかを考えることが必要です。

アビームコンサルティングでは、DXを推進する企業・リソースが、道具(技術)、場(交流)、財(ノウハウ)を用いて新たな顧客価値を創造できる状態を知的創造空間と定義し、実践型・ハンズオン型の研修を通じてその形成を支援します。



## 研修メニュー例1:部門横断型で実施するワークショップ(ハンズオン型)DX研修

「ワークショップ型DX研修」では、事前に設定したテーマについて部門横断のメンバーがディスカッション～経営層へのプレゼンまでを体感し、成功体験を得ることで次世代のデジタル化を担う人材へと成長することを旨とした、伴走型の研修を提供します。



## 研修メニュー例2:製造現場で実施するファクトリーツアー(実践型)DX研修

「ファクトリーツアー型DX研修」では、実施の製造現場を訪問して生の課題を確認し、解決のための具体案を整理する事を目指した、実践型の研修を提供しています。

